

(公社) 日本地すべり学会 新潟支部
平成 29 年度 第 5 回幹事会議事録

日時：平成 29 年 12 月 21 日（木）18:30～20:50

場所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：福岡，渡部（直），稲葉，権田，山下，渡部（哲），五十嵐，佐藤（博），古宇田，
井藤，藤ノ木，柚木脇，増田，辻川（14 名）

記録：辻川

1. 各部会の進行状況

①総務（稲葉幹事長）

- ・見積の結果，会場使用料が高い（同規模の大会と比較しても 50 万近く高）ことから経費削減が必要。
- ・第 2，第 3 会場については 8 月 21 日午後の利用をやめ，22 日の朝からの準備対応とする。これに対応した見積を再度依頼する。
- ・口座開設を急ぐ（「日本地すべり学会」を入れる）。
- ・フォトコンテストは実施する方向で検討する。
- ・特別講演の候補者について，次回までにメールで意見交換しながら絞り込む。
- ・会場の弁当販売については，お茶付き 1000 円とする。
- ・実行委員会名簿・規約については，資料のとおり（国交省メンバーの変更）。
- ・大会参加費（研究発表会，意見交換会）は長野大会に準じたものとする。補助金申請の際に提出する大会費用の見積もこれに従う。

②県民講演会（渡部副支部長）

- ・講師の人選については前回の報告どおりで内諾済み，今後正式に依頼する。
- ・地すべりや防災などに関連づけた話となるよう，講演依頼の際に伝えてある。前回の資料にあった「日本酒の未来」はあくまでも現時点での仮題，キーワードである。

③受付（権田幹事）

- ・12 月 11 日に本部で受付システムの説明を受けた。
- ・今後事務局用のメールアカウントを取得し，関係者に情報共有できるようシステムを構築。事務局の住所は新潟大学災害・復興科学研究所とする。

④研究発表会（渡部副幹事長）

- ・特別セッションについては事業部への提案ができるよう，新潟ならではのもの（棚田，積雪，フォッサマグナ等）を，次回までにメールで意見交換しながら絞り込む。

- ・発表データは、各発表者がセッション前までに直接、会場にある PC に持ち込む（会場では LAN 等の設備は設けない）。
- ・副座長は各社から若手技術者を出してもらおう（各社 2 名程度）。
- ・若手優秀賞の結果発表を大会期間中に行うのは困難。当日の審査に重点を置くならば、選考対象者のみを一つの会場（セッション）に集めて行うなどして、公平性を確保することが必要。
- ・会場スタッフは多すぎると教育やマニュアル作成が困難になるため、適正な人数を今後精査する。

⑤意見交換会（藤ノ木幹事）

- ・見積は、参加者は 400 名規模、会費は会員 6,000 円・学生 3,000 円で想定。
- ・枝豆コーナー（20kg）を設置。地酒コーナーの銘柄は今後検討する。
- ・会場にクロークを設定するが、管理方法については今後検討が必要。

⑥新技術紹介（山下幹事）

- ・B ホール機器展示の中央列の企業については、会場裏に荷物置き場を確保。
- ・展示企業は前回実績等から 26 社程度を想定。ポスター会場を 2 階ホワイエに拡張すれば、30 社程度までの受け入れが可能。
- ・1 企業当たりの展示区画は 2.4m×2.1m。
- ・展示金額は賛助会員 100,000 円、非賛助会員 150,000 円とする。
- ・長野大会同様にスタンプラリーを実施する。

⑦現地見学（渡部副支部長）

- ・滝坂（阿賀町）、糸魚川方面（谷根広田、釜沢等）、松之山方面の 3 コースで調整。
- ・参加費は、滝坂 5,000 円、糸魚川 10,000 円、松之山 15,000 円とする。

⑧会計（古宇田幹事）

- ・領収書の取り扱いについては細かいリクエストが多く、毎年受付ではその対応追われている（特に後払いの場合）。
- ・リクエストがある参加者には、事前に必要書類を作成・印刷して当日持参してもらい、受付では実行委員長の押印のみという形にする。3 月号会告にこの旨を記載する。

⑨その他（広報等）

- ・広告費は、A4 半頁 30,000 円、1 頁 50,000 円、2 頁 100,000 円とする。
- ・印刷（講演要旨集、ネームプレート等）に要する費用はまだ見積もられていない。

- ・新潟駅周辺のホテルリストを用意するか、また、そのうちのいくつかの部屋を確保しておくか、次回に決定したい。
- ・第1回の実行委員会を1月22日～26日で調整する。時間・場所は18:30、災害・復興科学研究所を想定。
- ・実行委員会の幹事に、西井稜子氏（新潟大学）を加える。

2. 平成30年度新潟支部地すべりシンポジウムについて

- ・新潟大会での現地見学会で巡る現場に関するもの（特に、糸魚川地域での台風災害現場の報告を中心に）。次回、幹事会で決定したい。

次回：1月18日（木）、18:30～20:00、災害復興科学研究所プレゼンテーションルーム
実行委員会に諮る事項及び資料の確認もあるため、実行委員会よりも前に開催する。